

# 水景施設（案） S=1:1000 (A3)

## 【水景施設の考え方】

- 旧生田川の歴史・記憶にちなみ、フラワーロード沿いに水辺空間を再整備する。
- ひろばと一体的な利用ができるフラットな形狀の水辺とする。
- 環境に配慮し、夏場の気温上昇に対する気象緩和や環境負荷低減に役立つ機能をもたせる。（クールスポット（ドライミスト）、浸透機能をもたせた植栽帯等）。
- 市民や来訪者が水辺でゆったりとくつろげるようレストスペースと組み合わせる。
- 水景施設の配置は、「みちひろば」の空間が有効に使えるように再配置する。
- 既存の水景設備を有効活用する。
- 異常高温対策として、芝生広場で維持管理に使用するスプリンクラーの水などを有効活用する。

■ 水景施設  
■ 水を使用した彫刻

0 15 30m



彫刻  
「虹の石」



車いす使用者も水に  
親しみやすいレイズドボンド  
慰霊と復興のモニュメントの  
落水・水盤



彫刻  
「ふれあいの滝」



浸透機能をもたせた植栽帯  
雨庭



生田川の記憶にちなみむら  
流れ



彫刻  
「スプリングストーン」



ひろばと一体的な利用ができるフラットな形狀の水辺

